

## 平成27年度放射線安全取扱部会年次大会へのお誘い —加賀百万石の城下町、金沢市へ—



平成27年度放射線安全取扱部会  
年次大会実行委員長

柴 和弘

平成27年度放射線安全取扱部会年次大会(第56回放射線管理研修会)は、中部支部の担当で、11月26日(木)、27日(金)に金沢市文化ホールで開催します。年次大会への参加のお誘いのご案内を申し上げます。北陸新幹線が今年3月に開通してから、全国的に注目されています。是非、年次大会に参加し、金沢市の観光も楽しんでいってくださいますようお願い申し上げます。

今回の年次大会のテーマは「放射能・放射線の情報を正しく発信するには」です。福島第一原子力発電所事故以来、放射能・放射線に対する負のイメージがますます強くなってしまいました。今回のテーマは、放射能・放射線の情報をどのように伝えることができるかを考えて決めました。特に、一般の方々に放射能・放射線がどのように利用されているかもっと知っていただきたいと思っております。そのため、1日目のシンポジウムⅠ「核医学による最新診断および治療法」では、放射線・放射性薬剤を使ったアルツハイマー病や心臓疾患の最新診断法と最新のがん治療法について話していただきます。このシンポジウムは一般公開として、多くの市民の方にも聴いていただけるようにしました。また、加賀百万石の歴史ある金沢市の文化を会員の皆様に知っていただくために、前金沢市長の山出保氏に「歴史と文化のまちづくり」の演題で特別講演Ⅱをお願いしました。2

日目には、今回のテーマに最も関係のあるシンポジウムⅡ「メディア・リテラシーを考える」を当部会の本部企画として行います。メディアを通して放射能・放射線に関する情報を発信する上で、放射線取扱主任者として、どのように情報を読み取り、更に関わることができるか、考えていきたいと思っております。シンポジウムⅢ「放射線施設改修工事および廃止における注意点」では、放射線施設の大規模改修工事や放射線発生装置施設の廃止に伴う書類手続き上の注意点並びに、実際の工事で起こる問題点(予算不足、設計と実際との相違等)についての情報や経験を話していただきます。特別講演Ⅲ「小動物PET/SPECT-CT装置を用いた*in vivo*動物研究の現状と将来性」では、放射線施設の利用の増加に繋がると期待される小動物イメージング装置を利用した研究について紹介していただきます。これは、遺伝子改変マウスの異常タンパクや代謝異常を動態画像として視覚的に捉えることができるもので、今後の疾病原因探求や診断・治療薬開発に大変有効な手段となり得ます。また、今回も最初の特別講演Ⅰで、原子力規制委員会原子力規制庁放射線規制室の島根義幸氏から、「放射性同位元素等の規制に係る最近の動向」を話していただきます。

加賀百万石の城下町、金沢市へのお越しを実行委員一同、心よりお待ちしております。

(金沢大学学際科学実験センター)